

第145号  
令和8年1月

# ながお町かわら版

発行:長尾町自治会  
住所:長尾町宅原319-2  
連絡先:長尾出張所  
電話:078-986-2581

<https://nagao-kobe.com>



町内で活動されている同好会を紹介します。

## 生け花 同好会



公民館（長尾地域福祉センター）が出来た頃、当時の婦人会長さんに「お花をしてみない？」と声をかけてもらい、高校でクラブ活動のお手伝いをしていた私は、楽天的な性格でも少し心配もしながら引き受けました。

初めは多くの人が参加して下さり、生け花をしながら、「元気だった？」「お正月はこうすればよい！」「お盆はこの様に」、「野菜の種は今蒔いたら」「肥料はこの時期がよい。」など、色々な話を聞かせてもらい、社会勉強をさせてもらいました。

今は生け花も多様化して、お花をする人も少なくなりましたが、第4土曜日に、長尾地域福祉センターで四季折々の花を、盛花、構成花、投入花など、工夫しながら楽しんでいます。相変わらず「今日は暑いね。」「寒いね。」「元気についていた？」な



ど、話に花を咲かせながら4時頃まで生け花をしています。

多くの人とのご縁で今もお花が出来ることに感謝し、私の元気の薬になっています。

（生け花指導 北野 千恵華）



## 大正琴活動

大正琴は大正時代の初期から始まった楽器です。左手で鍵盤を抑え、右手にピックを持って弦をひき、目は楽譜を見、耳はリズムにと、高齢者にとって脳の活性化に最も適した楽器とされています。

長尾町も平成15年頃からそろそろ年金生活者が多くなり、大正琴に興味を持つ人が増え、毎年全国大会に参加を目標として練習に頑張ってきました。やはり長い年月の経過とともに高齢化には勝てず、現在10人程になってしまいましたが、月2回、1時間半～2時間程度、JA長尾支店ふれあい会館で練習に励んでいます。

そんな中、今年度も11月末に「おさらい会」がさんだ市民センターであり、三田地区のグループの人達と合同で1年間の反省や親睦を兼ね頑張って演奏してきました。なんと言っても元気が一番と再認識した発表会でした。



＜ご参考＞ 大正琴は、1912年（大正元年）に森田吾郎氏が二弦琴とタイプライターから着想を得て発明された、和楽器のような日本独自の洋楽器です。ピアノのような鍵盤を左手で押さえ、右手のピックで金属弦を弾いて演奏します。数字譜で演奏しやすく、リハビリや脳活性化にも良いとされています。 （編集委員会）

## 第46回 長尾町趣味と芸術作品展 11月1日、2日

恒例の文化祭行事が今年は11月1日、2日「長尾町フェスティバル」と同日に開催され、1年間の同好会・個人の努力の成果作品を発表していただきました。

今年は、出展者数 270人、展示作品数 340点、見学者数 160余名で、数多くの手芸品・習字・生け花・盆栽の他、今年も岩谷地区の松風さんが建物の手作り品の力作を出展していただきました。また、水中カメラによる珍しい海底の写真及び、上上津地区の松本さんのフランスの建物写真も注目を集めました。

開催にご協力頂いた次の皆様に厚く御礼申し上げます。

- ・長尾町各種団体
- ・長尾小学校
- ・長尾幼稚園
- ・長尾児童館
- ・ありまこうげんホスピタル
- ・やすらぎの里神戸赤松台

(長尾ふれあいのまちづくり協議会 会長 大江重治)

「門かぶりの松」長さ当てクイズの結果 正解は510cmです。

町内各地区、鹿の子台、道場町、上津台など、38名のご応募頂きました。有難うございました。  
当選者は次の3名の方で、記念品を贈呈致しました。 次回もお楽しみに。

梅本結衣様（ひよどり台） 辻悦子様（上上津） 奥谷謙一様（谷上）

(婦人会・福寿会 担当)



## 第2回 長尾町フェスティバル 11月2日

第2回長尾町フェスティバルは、北神戸中学校吹奏楽部のファンファーレで荘厳な空気のなかをスタートしました。

ステージ上と前面スペースには、緊張した総勢 65 名の吹奏楽部メンバーが指揮者の合図を待っていました。約 30 分間を、アニメを含む曲目を演奏し、突然のアンコールにまで応えてくれました。

ステージは、昼夜憩なく全6演目にわたりました。隣接婦人会の協力を得た銭太鼓、歴史ある熊野神社の神楽、ハーモニーが光ったラ・フレール、4世代で構成された和太鼓グループ、締めは会場に明るさを振り撒いた「ちんどんグループ」と盛りだくさんでした。

仮設商店街では、様々な飲食・物品販売が軒を連ね、市政70周年記念ブースには平成9年7月当時の巨大航空写真を展示し、多くの皆さんの関心を集めました。今回中央部に設置した飲食・休憩テントではイス席で食事が出来ると好評でした。



## 「長尾地域福祉センター」が「長尾地域交流センター」に

皆さんにご利用いただいているセンターが以下のような変更を予定しています。

- ・新名称は「長尾地域交流センター」
- ・利用料金
- ・受付当番手当 等

以上の変更は令和8年度から実施予定です。この変更は地域活動の担い手不足、高齢化への対応を目的としています。詳しくは次号（4月号）でお知らせ致します。 (長尾ふれまち会長 大江重治)

## はたちのお祝い

長尾町自治会では今年度に20歳を迎える方を対象に、「はたちのお祝い」として記念品をお贈りします。今年度は右記の6名の方が対象です。自分の夢に向かって、健康で元気により一層励まれますように。

敬称略

- <岩 谷>
- <下上津>
- <有 井>
- <豊 浦>
- <下宅原>

## 各地区の秋祭り 10月12日、長尾神社は10月5日

**長尾神社** 本年は神事の後、数年ぶりに親睦会と餅まきが行われました。お餅は1個ずつビニール袋に入れ、その上に書かれた数字で景品に交換されました。久々に本来の秋祭りが戻ってきました。

**大歳神社** だんじりは小雨で雨宿りはありましたが、無事最後まで巡回することが出来ました。今年はコロナ以降途絶えていた餅まきも盛大に行われ、子供神輿は境内を練り歩き、コロナ以前の盛大で活気ある秋祭りが本格的に戻ってきました。

**熊野神社** 13時頃から、本殿では宮司さんによる神事が行われ、境内では神楽（獅子舞）奉納が始まりました。今年は本神楽から天狗獅子までの9演目を奉納しました。また、神楽奉納後、恒例の餅まきはコロナ前のように盛況でした。

**一之宮神社** 今年も4地区（豊浦・岡・有井・下宅原）の区長、宮総代の参列で神事のみ行いました。なお宮司は先代ご逝去のため、ご子息が後を継がれ執り行われました。

**八王子之宮神社** 最盛期には、神楽を奉納していましたが、平成29年秋を最後にその歴史を閉じ、今や、正月・夏・秋に、祭壇にお供えをして神事のみを行っています。



長尾神社



大歳神社



熊野神社



一之宮神社



八王子之宮神社

## お知らせ

**毘沙門天大祭** 1月13日に多聞寺で毘沙門天大祭が行われます。

法要の後に護摩焚き、火渡りが行われます。お守り、吉兆などが販売されます。

また、国の重要文化財に指定されている毘沙門天立像が拝観できます。

**八幡宮厄除け祈願祭** 1月19日、上津熊野神社で八幡宮厄除け祈願祭が行われます。

上津熊野神社には八幡宮が祀られており、参拝されてお札、破魔矢、交通安全の御守を購入された方を宮司さんが祈祷されます。祈祷は10時と11時です。

『両祭とも、参拝者はほとんどその地区の皆さんです。他の地区的皆さんも、是非参拝ください。』

## 上上津地区 保育園児の稻刈り体験 10月17日

10月17日、上上津地区で有機農産物を育てておられるNPO法人「命根の稻（いねのいね）」の皆さんにより、保育所かたつむりランドの園児を対象に「稻刈り体験」を実施されました。

当日はNPO法人の久山代表をはじめ、法人スタッフの皆さん、4,5歳児の園児や保育士さんが参加されました。法人の皆さんのが稻の刈り方や束ね方、稻を天日干しする稻掛け作業などを指導し、子どもたちは、興味深く熱心に農作業を楽しんでいました。この取り組みは「田植え体験」と合わせて令和5年から行われており、今年で3年目になります。

「稻」の事を大和言葉では「命根（いね）」と書いたそうで、まさに生き物たちの「命の根」だそうです。NPO法人「命根の稻」は、稻作文化とそこに宿る心を学び、環境のことを考え、子どもたちに残したい豊かな暮らしについて話し合い、そして行動する。そんなコミュニティ作りを志しておられます。



## 秋の芋ほり体験

下宅原地区、寺内さんの「長尾いもほり農園」では、さつまいもの「紅あづま」が、見事に育っています。

10月に数回、三田市や神戸の園児たちが、自然の中で土とふれ合いながら、いも掘りを体験する和やかなひととき。園児たちは、小さな手と小ぶりの移植ゴテで苦戦しながらも、一生懸命掘っていました。ようやく抜けると、「わあ！おおきい、重い！」と歓声。「いっぱいとれたよ」と見せ合っていました。

大人の方も、さつまいもを折らないようにと慎重に。掘れたときの喜びは格別ですね。自分で掘ると、食べ物への感謝の気持ちを体験する良い機会ですね。



## 北消防署からのお知らせ 野焼きに注意！

野焼きによる火災は、空気が乾燥し、周囲に枯草や落葉が堆積している1月から5月にかけて多く発生しています。農業を営むためにやむを得ず焼却を行う場合は、次の点に十分注意をしてください。



枯草の焼却を実施するときの手順

- ① 着火する前に必ず周囲を確認
- ② 消火の準備をする
- ③ 小分けにして着火
- ④ 焼却中はその場を離れない
- ⑤ 焼却後は確実に消火

☆焼却を行うときは、消防署に届け出をお願いします。（神戸市火災予防条例第54条）

「いつ、どこで、誰が、何を燃やすのか」を事前に電話連絡してください。

この届出は、火災と間違えて消防車の出動を防ぐためのもので、焼却を許可するものではありません。

【連絡先】 北消防署 北神分署 981-0119 有馬出張所 903-0119

## おくやみ

〈豊浦〉 小西 幸子さん（満92才）R7.9.17  
 〈下上津〉 小南美津子さん（満94才）R7.9.27  
 〈上上津〉 山田 英子さん（満86才）R7.10.22  
 〈岩谷〉 隅井 登子さん（満94才）R7.10.25  
 〈下上津〉 片山香代子さん（満65才）R7.10.26  
 〈下上津〉 安井 桂子さん（満90才）R7.11.8

## 編集後記

「年齢は単なる数字で、本当の年齢は自分で決める。」という外国の諺があります。

長尾町の高齢化も単なる数字であり、今回も長尾町の若々しい活動を記事にすることができた、良かったです。

K. Kita